

学会名	第55回 植物化学調節学会
演目名	シロイヌナズナ傷害応答関連遺伝子の発現と接ぎ木接着に対する麻酔処理の影響
発表者	○※平山 朔也 <sup>1</sup> , <u>佐藤 良介</u> <sup>2</sup> , <u>柴田 恭美</u> <sup>2</sup> , 陽川 憲 <sup>4</sup> , 佐藤 忍 <sup>5</sup> , <u>朝比奈 雅志</u> <sup>1,2,3</sup> (1; 帝京大・院・総合理工, 2; 帝京大・理工・バイオ, 3; 帝京大・先端機器分析セ, 4; 北見工業大・工, 5; 筑波大・生命環境) (○; は発表者、※; 卒研生または大学院生、アンダーライン; 本学教職員、研究員)

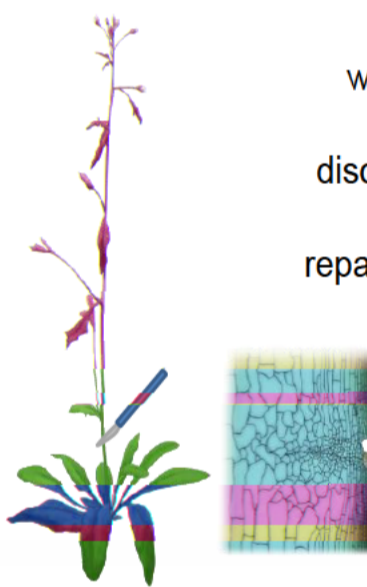
内容

我々はこれまでに、シロイヌナズナ胚軸を用いた接ぎ木過程では、オーキシンによって誘導される ANAC071・ANAC096・ANAC011 転写因子が、組織癒合における細胞分裂に重要な役割を担っていることを報告している。また、ジャスモン酸と RAP2.6L 転写因子は、胚軸接ぎ木においては細胞分裂・増殖に直接関与していないことを明らかとしているが、傷害応答が接ぎ木接着に与える影響については不明な点が多い。本研究では、傷害応答関連遺伝子や植物ホルモンのシロイヌ

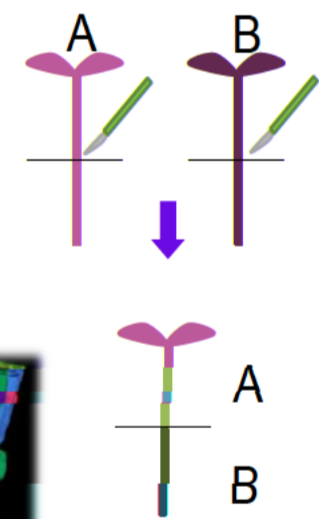
た。  
行ったも

ナズナの胚軸間接ぎ木に与える影響について検討するため、植物麻酔法(Yokawa et al. 2018)を用いた解析を試みた。なお本研究の一部は、科学研究費補助金、私学事業団特別補助(大学間連携等による共同研究)による支援を受けているのである。

Studies on the mechanism of tissue-reunion in plants.



1. Tissue-reunion of stem



2. Graft union of seedling

wounding  
↓  
disconnection  
↓  
repair (reunion)

関連画像